

eラーニング教材って なに？

～eラーニング教材の様々な種類とトレンドを紹介～



CONTENTS

目次

■ 第一章

eラーニング教材のいま／教材の変遷

■ 第二章

動画・映像教材の最新トレンド／新たな映像表現「VR」の教育活用とは

■ 第三章

KnowledgeDeliverの紹介

はじめに

eラーニング・ICT教育の利用が爆発的に増えています。新型コロナウイルスの影響でテレワークが推奨されたことがきっかけとなり、教育機関における“遠隔教育”や組織（企業・官公庁など）の“社員教育”にeラーニング・ICT教育を活用するケースがこれまで以上に増加したことが背景にあります。

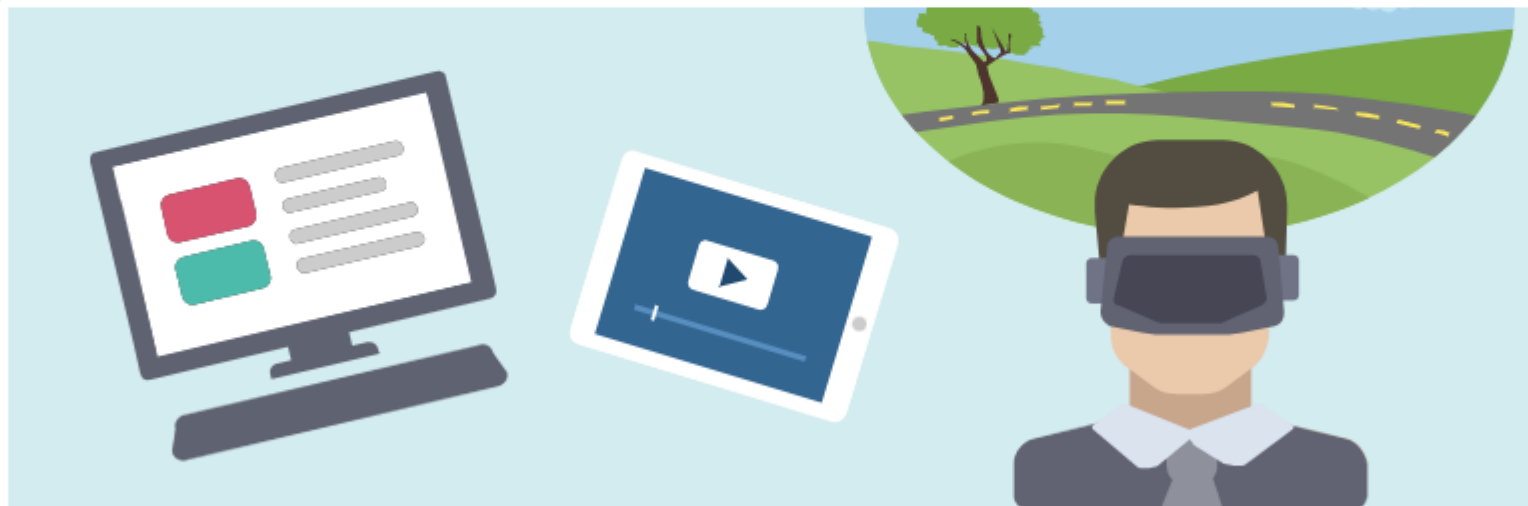
しかしいざeラーニング・ICT教育を利用しようと思っても、システムは数多くあり、機能も様々「どの製品・サービスが自社・自校に合うのかわからない」という声をよく聞きます。

そこでデジタル・ナレッジでは、本資料を含むホワイトペーパーの資料にて、eラーニング・ICT教育の導入を検討されている、もしくはご利用中のシステムの変更を検討されている組織・教育機関の皆さまに向けて、基礎知識や導入のポイントを分かり易く解説いたします。eラーニング・ICT教育の選定にお役立ていただきたいと思います。

第一章

～eラーニング教材のいま／教材の変遷～

eラーニング教材のいま



eラーニングが誕生した当初は、紙テキストをそのまま電子化したような簡易的な教材がほとんどでしたが、近年では音声やアニメーション、映像を多用した教材が主流となっています。なかでもここ数年で圧倒的にシェアを伸ばしているのが、動画・映像教材です。今や多くの企業や塾、学校において映像教材や動画教材の活用はごく一般的となりました。さらに最近では、新たな映像表現として「VRコンテンツ」に注目が集まっています。

教材（コンテンツ）の変遷

時代と共に移り変わってきたeラーニング教材（コンテンツ）。ここでは、教材の形式や作り方を5つに大別してご紹介します。なお、教材（コンテンツ）には小テストやドリルなどのアウトプット学習教材も含まれますが、ここでいう教材とは説明や解説で使うインプット学習の教材に限定します。



1. 資料アップロード型

紙テキストを電子化したり、WordやPowerPointなどの既存の文書ファイルをそのままアップロードして配信するものです。最も手軽な方法のひとつですが、表現力やわかり易さという面では後述するその他の教材に劣ることから、その利用は限定的です。



2. テキスト修飾型

1に音声やアニメーションなどを組み込んだものです。テキストを音声で読み上げたり、進行に合わせて書き込みやアニメーションを付加します。文字情報だけではない表現を加えることで、1に比べてわかり易い教材を実現できます。

🔑 3.ストーリー型

キャラクターが登場し、スライドやアニメーションを用いて説明してくれる形式です。主にFlashで作成されています。その見た目の平易さや親しみやすさから、子供向け教材はもちろん、様々な階層の多くの人を受講する企業内研修などでも使用されています。1つの教材で様々な階層の多くの人を受講したり、できるだけわかり易く教材を提供したい場合に今も採られる手法です。デメリットとしては、シナリオ作成や絵作り、ムービー作成に手間がかかることが挙げられます。

🔑 4.講義再現型

講師の授業を再現した動画教材です。講師を映す小画面と、黒板やスライドを模した大画面とを配置し、講師の講義映像に合わせて、黒板やスライドへの書き込みや指差しなどを再現します。リアルな講義と同等の表現力を持ち、わかり易く、比較的導入し易いというメリットがあります。

The screenshot shows a video player interface. On the left, there is a video thumbnail with a man speaking, titled 'サムネイル' (Thumbnail). Below it, a video player shows a slide titled '新製品 "Knowledge Deliver Video+"'. The slide content includes a list of features:

- ✓ 学習に最適化された動画プレイヤー
- ✓ パソコンだけでなくスマートフォン/タブレットのマルチデバイス環境に配信
- ✓ 大規模配信にも対応したストリーミング配信
- ✓ 動画アップロード/エンコードをクラウドで実施
- ✓ パソコンのブラウザで簡単にオーサリング

Below the list, it says 'これらをサービスとして提供します。' (We provide these as a service). The video player controls at the bottom show a progress bar at 00:00:15 / 00:06:37, a play button, and a page indicator '1 / 2ページ'.

🔑 5.動画収録型

4の講義再現型をさらに進化させ、講師だけでなく黒板なども含めた授業そのものを撮影収録し教材化した動画です。

4の講義再現型では黒板やスライド部分を特別なオーサリングソフトを使って再現する必要がありましたが、この「動画収録型」なら講義を丸ごと撮影するだけで済み、余計な負担がありません。さらにパソコン、タブレット、スマートフォンで再生できるためマルチデバイスにも有利です。そのためここ数年でこうした動画教材の利用が急増しています。



第二章

～動画・映像教材の最新トレンド/
新たな映像表現「VR」の教育活用とは～

動画・映像教材の最新トレンド

このように、ひと口に教材（コンテンツ）と言っても様々な形がありますが、インターネットの発達や手軽に教材作成が可能なツールの普及により、近年では動画・映像教材、とくに動画収録型の利用がスタンダードとなりつつあります。

動画教材の広まりとeラーニングの進化には密接な関係があり、それぞれが影響し合っ
て次のようなトレンドを作り上げています。





1. 動画教材による実践型の研修・教育の増加

ここ数年で企業の社内研修や教育における教材（コンテンツ）の内容が大きく変わってきたことはご存知でしょうか。

これまで企業の教材は、個人情報保護などの全社共通の知識や基本的な社会人マナーなどが多く、受講対象者はデスクワーカーが主でした。

ところが、最近では店舗や飲食店、工場、医療などの現場で働く人たちを対象に、映像教材を活用して実際の動作や作業手順などを学ぶ「実践型のeラーニング研修」が増加

傾向にあります。ここで活躍するのが動画・映像教材です。作業手順や操作方法、調理方法、接客といった、これまで口伝やOJTで教えていた現場のノウハウを映像教材化することで、場所を問わず大人数によりわかり易く伝えることが可能となり、現場の人材育成が変わろうとしています。そしてこの背景には、スマートフォン、タブレットなど持ち運びができて起動時間が短く、直感的に操作できて場所をとらないデバイスの普及があります。





2. マルチデバイス化にも適した動画教材

スマートフォンやタブレットといったデバイスの普及は、eラーニングの受講環境を大きく変えました。

かつてはパソコンでの学習が前提でしたが、現在はスマホやタブレットなどを含む様々な環境（マルチデバイス）で学習する環境が一般化しています。そこで注意すべきは教材の形式です。たとえば、広く使われているFlash教材はiPhoneやiPadでは再生できません。マルチデバイス化を考えたとき、独自形式の教材は各端末にあわせて作り直す必要が生じます。

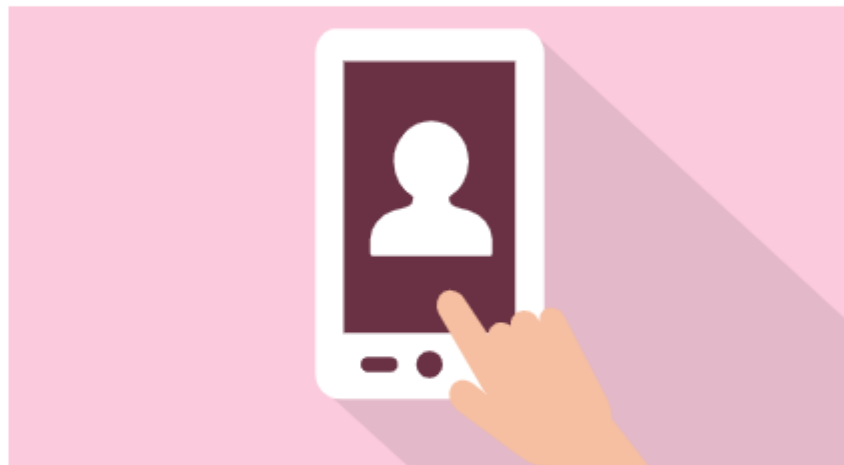
一方、動画教材はフォーマットさえ調整すればすべてのデバイスで再生できるため、昨今のニーズにマッチしてると言えます。





3. スマホファースト・スナックラーニングで動画教材もショートタイプへ

前述の流れがさらに加速し、「スマホでも」学習できる環境から「スマホを第一に考えた」学習スタイルも増えています。このようにスマホでの学習を前提とした学習スタイルを「スマホファースト」といいます。とくに若い年齢層を対象とした教育サービスでは、このスマホファーストの考えをとる傾向が強まっています。スマホ学習では一から十まで順を追って学習するのではなく、要点だけをささっと学習する「スナックラーニング」が適しています。そのため使用される動画・映像教材も、従来よりもぐっと短い1~2分程度のものや、場合によっては30秒程の非常に短いコンテンツが多用されているのが特徴です。





4. 動画・映像教材のバリエーションと最新機能

動画教材は、教室での授業や講義を据置きカメラでそのまま収録したものから、テレビ番組のように脚本・演出が施されたもの、クロマキー合成技術を取り入れたものなど様々なバリエーションがあります。動画教材作成ツールも目覚ましい進化を遂げており、たとえば、スロー再生や倍速再生が可能な“再生速度コントロール”により「外出時のすきま時間を利用してスマホで映像教材を倍速視聴」といった学習スタイルも実現可能となりました。また、デバイスをまたいだ“つづき再生機能”により「自宅のPCで学習した続きを通勤中にスマホで視聴する」といった使い方も可能となっています。



新たな映像表現「VR」の教育活用とは

教育に使える新たな映像表現として今、急速に注目を集めているのが「VR」です。

VRとはVirtual Reality（バーチャルリアリティ）の略で、人工的な環境を作り出しあたかもそこにいるかのような感覚を体験できる技術のことです。日本語では「仮想現実」「人工現実感」とも呼ばれます。

VRの最大の特長は、「仮想空間の中でまるで現実のような疑似体験ができる」点です。特殊な機器を身に着けることで、

- 臨場感のある体験
- 現実世界では再現しづらい体験を、
- 現実と錯覚するような没入感の中で
- いつでも、どこでも、繰り返し体験することが可能です。

こうしたVRの特性を教育の領域で活用できるのではないかという期待が高まっています。国内ではまだまだ少ないのですが、海外ではVRコンテンツの教育利用の事例が続々と誕生しています。

学校教育におけるVR活用例

- 歴史的建造物にバーチャルトリップ（社会見学）
- 人体や生き物の内部構造をVRで学習
- 月面着陸など非日常的な体験学習をVRで
- 大勢の聴衆を前にVRで繰り返しプレゼン練習
- 学生のうちから職業訓練や仕事体験



VRを使えば、アメリカにいながら万里の長城を見学するといった体験や本来は入れないような場所でも疑似見学することが可能です。また、大勢の前で発表をするプレゼン練習にもVRが活用されています。「100人の聴衆の前でプレゼンをする」といったことは、日常生活で繰り返し行うことはなかなか難しいですが、VRを使えば何度でも練習が可能です。こうした学校教育の領域におけるVR活用は、子供の興味・関心を強く惹きつけるだけでなく、学習効果が上がるなどのデータも出てきているということです。

企業教育におけるVR活用例

- 多拠点展開店舗の接客ポイント・調理のコツをVRでマニュアル化
- 事前にVRでクレーム対応経験を積む
- 火事・災害など「まさか」の事態をVRで事前体験
- 機器の操作手順をVRの360°映像で立体的に説明
- ベテランの体験をVR映像を通じて追体験し高度技術習得を早める
- 費用がかかる経験をVRで一部実施し費用削減



企業教育におけるVR活用の最大のポイントは、バーチャル空間で実体験をすることで従来の研修では難しかった「経験値」を積むことができる点です。一人前になるために50の経験値が必要な場合、そのうち30をVRで経験する、といった使い方が今後は当たり前になってくるかもしれません。VRの市場規模は2020年までに約8.4兆円に達するとも言われています。VRを取り入れたeラーニング教材やコンテンツも今後急速に増えていくのではないかと予想され、その動向が注目されます。

第三章

～KnowledgeDeliverの紹介～

KnowledgeDeliverの特徴

1. 映像教材など動的でわかり易い教材を脅威の手軽さで作成可能
2. マルチブラウザ・OS対応で、スマホ・タブレットなど多種多様な学習スタイルに対応
3. 「使いやすさ」と「多機能性」の両方を追求した運用管理機能
4. ASP、クラウド、パッケージなど豊富な導入形態をご用意
5. 定期的なバージョンアップで新機能追加と最新クライアント環境に対応
6. ご要望に応じた柔軟なカスタマイズ対応
7. 数十万名様向けの大規模運用対応
8. 第三者機関による脆弱性診断・検査の定期受診による万全のセキュリティ対策
9. プライバシーマーク®、ASP・SAAS安全・信頼性情報開示認定済み
10. サポートセンタによる安心の運用サポート体制

KnowledgeDeliverが選ばれる理由

選ばれ続ける8つの安心



これ一つで完結

eラーニングに必須の「教材作成」「学習」「運用管理」機能を標準搭載。他のツールをご用意いただく必要がありません。



マルチデバイス対応

PCはもちろん、スマートフォン、タブレットでも学べるマルチデバイス対応。スマホで動画配信も可能です。



年4回のバージョンアップ

お客様のニーズやトレンドに合わせた新機能追加、最新クライアント環境に対応。新しいLMSを提供し続けています。



2000以上の導入実績

企業・官公庁・医療機関など実績多数。売上拡大も効率化もコスト削減も、各分野に精通した専門部署にお任せください。



ご要望にあわせたカスタマイズ

課題や目的が違えば導入すべきeラーニングの形も異なります。お客様の要望にあわせた柔軟なカスタマイズが強みです。



豊富な導入形態・大規模運用

ASP、オンプレミス、DKクラウド、パブリッククラウド等、豊富な導入形態をご用意。数十万名様向けの大規模運用にも対応。



安心の運用サポート

運用ご担当者様や受講者様向けにサポートセンタを設置。電話、メールによるサポートでより円滑な運用をサポートいたします。



個人情報保護・セキュリティ対策も万全

KnowledgeDeliverを基盤としたASPサービス「ナレッジデリ」では「ASP・SaaS安全・信頼性情報開示認定」を受けています。

皆さまからのご連絡をお待ちしております

メールで質問

infoadmin@d-k.jp

電話で質問

導入の
ご相談 **050-3628-9240**

その他 **03-5846-2131**

サイトを見る

デジタル・ナレッジ

検索